

令和四年度

福島森林管理署の概要



吾妻小富士と一切経山（磐梯朝日国立公園）



林野庁 関東森林管理局
福島森林管理署

福島森林管理署管内の国有林の分布

福島森林管理署は、福島県中央部中通り北部の、5市、3町、1村に跨る316.7千haを管轄し、58.2千haの国有林を管理しています。

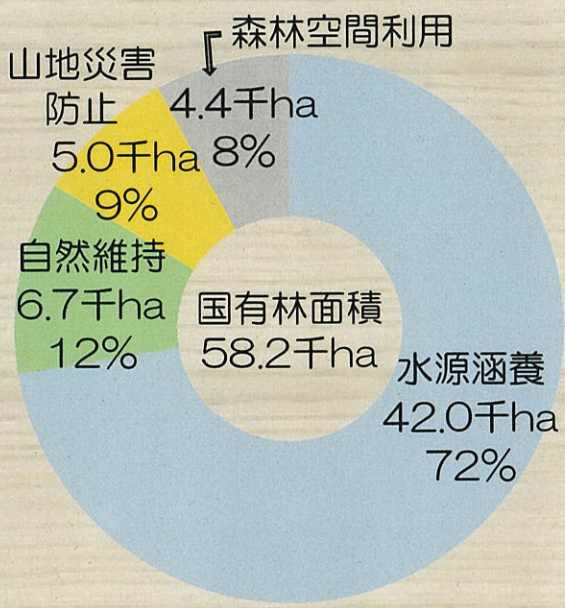


福島森林管理署管内の国有林の現況

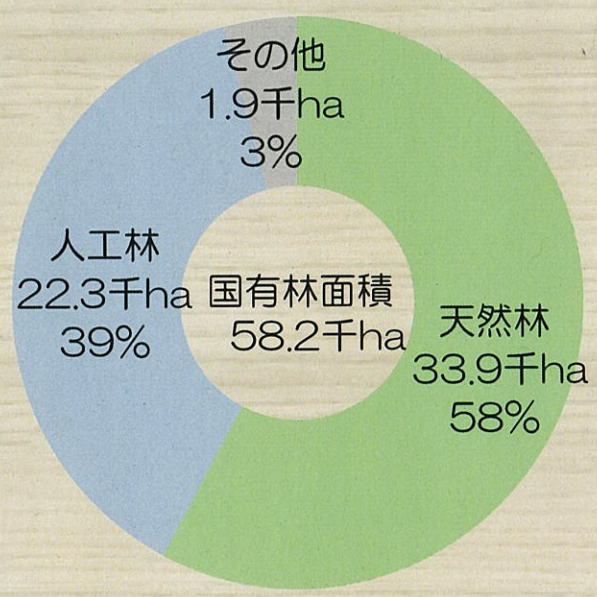
国有林の管理経営に当たっては、それぞれの国有林を重視すべき機能に応じて、5つに区分しています。

福島森林管理署管内の国有林は、「水源涵養タイプ」、「自然維持タイプ」、「山地災害防止タイプ」、「森林空間利用タイプ」の4つに区分し、それぞれの機能を最大限に発揮させるための施業を推進しています。

機能類型別面積

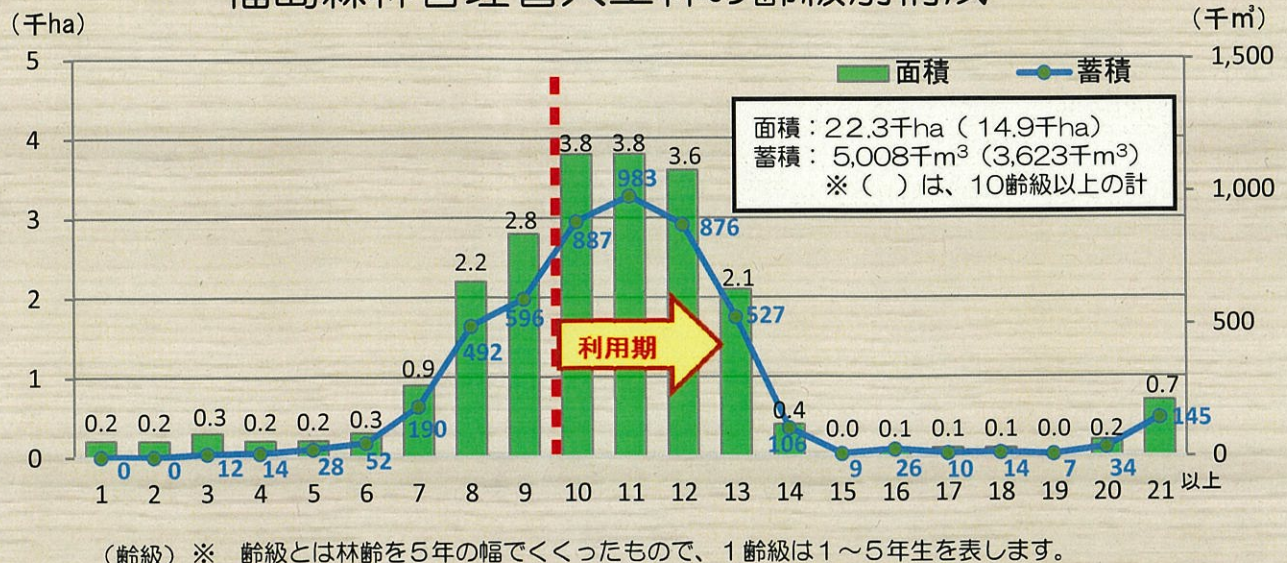


天然林・人工林別面積



福島森林管理署管内の国有林の3分の2は、広葉樹を主体とした天然林です。人工林は、主にスギ、アカマツが植栽されており、10齢級以上の森林の面積が14.9千ha（約67%）、蓄積で3,623千m³（約72%）と充実しており、そのほとんどが利用期を迎えています。

福島森林管理署人工林の齢級別構成



(齢級) ※ 齢級とは林齢を5年の幅でくくったもので、1齢級は1～5年生を表します。

福島森林管理署は、森林・林業施策全体の推進に貢献するため、さまざまな取組を行っています。

公益を重視した管理経営の一層の推進

○計画的な森林整備と治山対策の推進

機能類型区分に応じて多様で健全な森林への誘導を促進するとともに、間伐や主伐後の再造林に積極的に取り組んでいます。

また、荒廃山地や溪流において、復旧整備や保安林の整備を計画的に行っています。



列状間伐後の森林



間伐材を利用した治山施設

○森林生態系保護地域

「吾妻山周辺」の森林生態系保護地域や「増沢モミ」、「日山ミズナラ」、「深沢ヒノキアスナロ」の3つの保護林等を設定し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究に寄与するなど、原始的な森林生態系生物多様性の保護に努めています。



吾妻山周辺森林生態系保護地域



日山ミズナラ保護林

林業の成長産業化に向けた貢献

○低コスト化と民有林への普及・定着

林業の成長産業化の取組として、下刈作業の省力化や木材生産の生産性向上のため、現地検討会の開催等を通じ低コスト化に資する施業技術について、事業レベルでの検討・実証に取り組んでいます。



下刈省力化：防草シートの設置



生産性向上現地検討会

○林産物の安定供給

森林整備事業で行う間伐等を計画的に実施し、木材の安定的計画的な供給に取り組んでいます。

木材の供給に当たっては、民有林と協調し、協定に基づく安定供給システムによるほか、市場での委託販売も行っています。



土場での桝積



山元から直送のシステム販売

民国連携した取組

○地域との情報交換や意見聴取

国有林の管理経営に当たり、管内市町村との協議会や福島県、阿武隈川流域林業活性化センターとの定期会議を行うなど、広く国民や地方公共団体等との情報交換や意見を求める取組を進めています。



国有林野等所在市町村長有志協議会
(福島県中通りブロック)



都路地区きこの原木林維持管理検討会

○福島大学及び福島県との協定

・福島大学食農学類との人材育成に向けた協定締結

森林・林業分野における調査研究及び人材育成等を推進することを目的として、連携及び協力に関する協定を締結しました。

この中で、福島森林管理署は教育・実習のためのフィールドの提供、木材生産や森林整備の現場の見学等の協力を行い、福島大学食農学類は福島森林管理署の要請に応じ業務等について学術的観点から助言指導を行うなど、相互に連携・協力することとしています。

・福島県との人材育成に向けた協定締結

福島県は県内の森林・林業の課題解決のため、「林業の人材育成に関する基本構想を策定し、その実現のための拠点として「林業アカデミーふくしま」を運営していくこととしています。

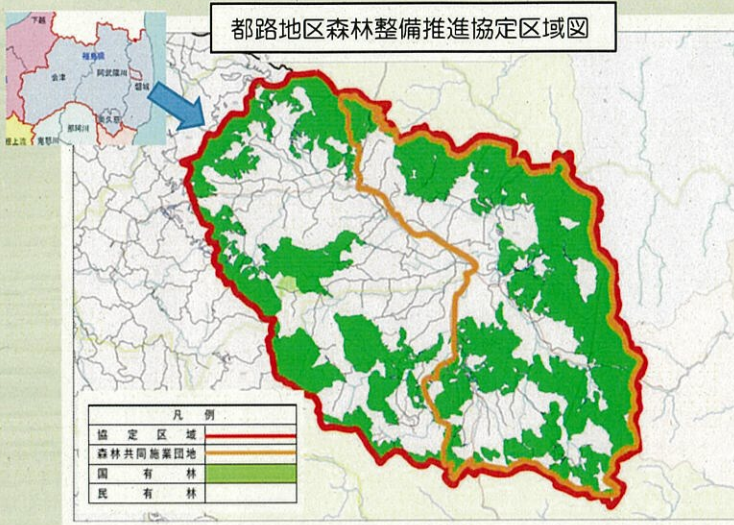


福島森林管理署はこの「林業アカデミーふくしま」の実技研修等で使用する実習フィールドの提供や国有林野事業の木材生産の現場見学等を通じて県内の森林・林業の担い手育成に貢献していくこととしています。

民国連携した取組

○都路地区森林整備推進協定

福島県田村市都路地区の森林・林業の再生に向け、森林の多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、森林共同施業団地を設定し地域林業の活性化に向け各種取組を実施しています。



- 広葉樹材の販路拡大**
 - 広葉樹材の販路拡大等について 国有林の民国連携システム販売の制度も活用し取組を実施
- 野生鳥獣被害及び森林病虫害対策**
 - ニホンジカ及びカシノナガキクイムシによる森林被害の情報共有を図り地域と連携して被害対策を実施
- 地域との連携した情報共有・情報提供の推進**
 - 協定区域内の民有林における森林の整備を検討する「旧避難指示区域等における森林・林業再生検討会」と連携して情報共有等の実施

協定者

- ふくしま中央森林組合
- 福島県中央木材市場素材生産組合
- 林野庁 関東森林管理局 福島森林管理署

協定期間

令和2年6月11日～令和7年3月31日

協定区域面積

区分	協定区域 (ha)	内森林共同施業団地(ha)
民有林	4,493	2,291
国有林	5,847	3,737
計	10,340	6,028



民有林材と協調出荷するための土場を設置

森林整備等の事業計画

区分	主・間伐	路網整備
	木材生産	
民有林	1,870 m ³	110 m
国有林	8,050 m ³	500 m

「国民の森林」としての利用

○森林環境教育

地域の森林環境教育を実施する団体や学校と連携し、小学生や教職員等を対象とした森林教室、体験林業等に取り組んでいます。



親子「子ども樹木博士」
チャレンジ



小学校での森林教室
(福島第二小学校)

○レクリエーションの森

国民の保健・文化・教育的利用に供する施設又は森林の整備を特に積極的に行うことが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」として選定し、広く国民に提供しています。

福島森林管理署管内では、安達太良自然休養林の中の安達太良山が、「日本百名山」の一つに選定されています。

福島森林管理署管内のレクリエーションの森			
種 類	箇所数	面積 (ha)	摘 要
自然休養林	1	1,510	安達太良
野外スポーツ地域	1	75	二本松塩沢スキー場
風致探勝林	1	174	吾妻山
計	3	1,759	

「国民の森林」としての利用

〇ふれあいの森、遊々の森

ボランティア団体や企業等による自主的な森林整備活動を支援するために、協定締結による国民参加の森づくりの取組を推進しています。

活動名	市町村名	名 称	設定年月日	面積 (ha)	実施主体
ふれあいの森 ※1	福島市	土湯の森づくりプラン	H22.10.22	1.69	NPO法人 土湯温泉観光協会
	小野町	高柴山ふれあいの森	H28.4.1	3.52	阿武隈高原中部観光連絡協議会
	郡山市	福島ふれあいの森	R2.11.30	1.23	学校法人 郡山開成学園
遊々の森 ※2	郡山市	鞍手山開成の杜	H15.6.5	22.53	学校法人 郡山開成学園
	小野町	ひかげの森	H30.8.1	1.05	特定非営利活動法人 小野自然倶楽部

※1 ふれあいの森 …… 自主的な森林整備活動を目的とした植栽、保育等の森林整備及びこれらの活動と一体となって実施する森林・林業に関する理解の増進に資する活動。

※2 遊々の森 …… 森林環境教育の推進を目的とした森林教室、自然観察、体験林業等の体験活動。



遊々の森：小野自然倶楽部 活動状況

野生鳥獣被害及び森林病虫害対策

○ニホンジカの生育状況調査

令和3年度は昨年度に引き続き、福島市、郡山市、川俣町及び田村市の国有林においてセンサーカメラによるニホンジカの生息調査を実施しました。また、郡山市の国有林では小林式シカ誘引捕獲を取り入れたくくり罠による誘因捕獲を実行し、2頭を捕獲しました。

今年度も、センサーカメラによる生息状況や被害状況等の把握に取り組みとともに、被害の防除及び福島大学・猟友会と連携し捕獲を推進することとしています。



天狗沢林道周辺（郡山市）



捕獲したシカ

○ナラ枯れ被害対策

令和3年度は二本松市長坂国有林において、山形大学齋藤客員教授をお招きしてナラ枯被害対策検討会を開催しました。今年度も被害箇所において、粘着シートを用いたカシノナガキクイムシの捕獲を実施します。

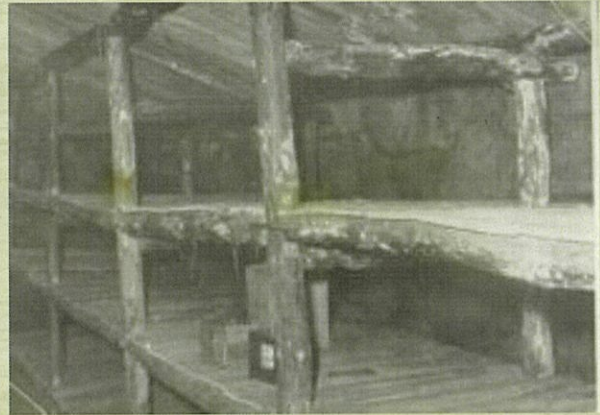


ナラ枯被害対策検討会の様子

林業遺産

○湯野風穴種子貯蔵施設遺構

位置：福島県福島市飯坂町湯野大舟国有林153林班内



湯野風穴貯蔵施設は、自然現象を生かした風穴により低温貯蔵を確保した施設です。

戦後の積極的な植林政策の中で、国有林、民有林で植えられたスギなどの苗木が大量に必要な時期に、苗木の増産に必要な種子の貯蔵を支えました。なお、種子貯蔵に用いられる以前は、蚕種貯蔵施設として利用されており、その再利用となっています。

構造は、天井まで空石積となっており、風穴施設の多くが木造天井であることからすれば他に例を見ない風穴構造であり、かつ、完全な形で現存していることが特徴です。

戦後の積極的な植林政策を支えた施設であり、ほぼ完全な形で残されていることが評価され、令和2年5月27日、一般社団法人 日本森林学会から福島県初となる林業遺産に選定されました。

令和4年度主要事業量その1（当初予定）

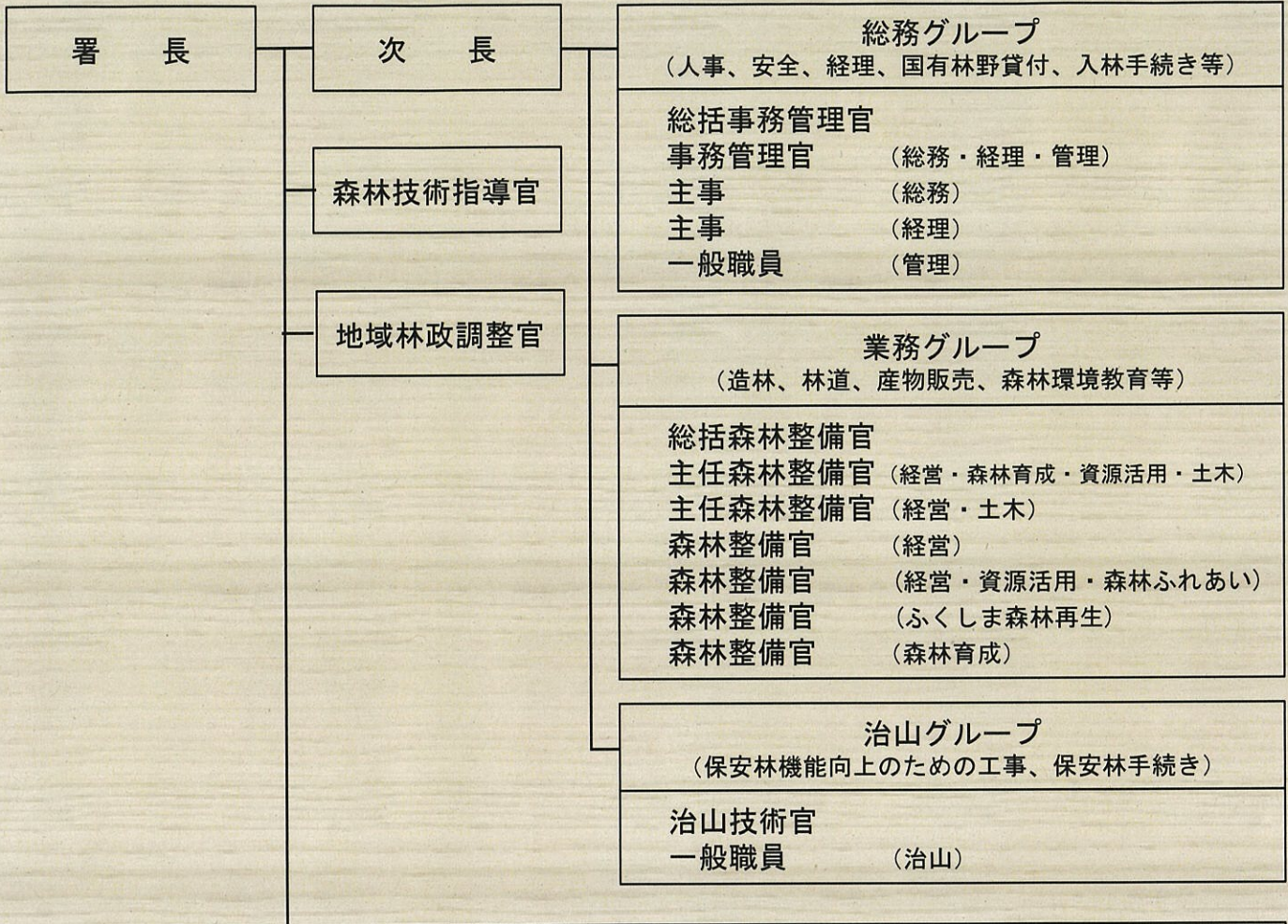
市町村別	国有林 面積 (ha)	収穫量 (m3)			造林 (ha)			
		主伐	間伐	計	地拵	植付	下刈	除伐 (除伐2 類含)
福島市	30,425	1,943	8,750	10,693	-	2.65	7.51	-
郡山市	9,912	2,215	8,317	10,532	8.12	10.35	57.52	-
二本松市	2,432	-	4,998	4,998	2.00	2.00	-	-
田村市	9,883	24,086	33,946	58,032	41.54	41.89	33.66	39.86
伊達市	513	-	1,141	1,141	-	-	-	-
本宮市	-	-	-	-	-	-	-	-
桑折町	408	-	-	-	-	-	-	-
国見町	-	-	-	-	-	-	-	-
川俣町	831	-	779	779	-	-	-	-
大玉村	2,824	410	15,864	16,274	-	0.08	12.04	-
三春町	-	-	-	-	-	-	-	-
小野町	971	-	-	-	-	-	15.61	-
合計	58,199	28,654	73,795	102,449	51.66	56.97	126.34	39.86

令和4年度主要事業量その2（当初予定）

市町村名	林業専用道	治 山		
	開 設 (m)	山 腹 工 (箇所)	溪 間 工 (基)	保安林整備 (箇所)
福 島 市			1	
郡 山 市	840			
二 本 松 市				
田 村 市			2	
伊 達 市				
本 宮 市				
桑 折 町				
国 見 町				
川 俣 町				
大 玉 村				
三 春 町				
小 野 町				
合 計	840		3	

福島森林管理署組織図

令和4年4月1日現在



森林事務所		
名称 (管轄担当区)	所在地	電話番号
福島 (福島・中茂庭・上茂庭)	福島市大笹生字俎板山1	024-557-6006
土湯 (土湯・川俣)	福島市野田町7-10-4	024-533-5100
玉ノ井 (玉ノ井)	大玉村玉井字薄黒内17-1	0243-48-3725
郡山 (郡山)	郡山市富久山町福原字水尾沢18-8	024-923-4458
小野町 (小野町)	小野町小野新町字中通129-10	0247-72-2034
常葉 (常葉)	田村市常葉町常葉字本坊116-2	0247-77-2027
都路 (都路)	田村市都路町古道字新町72-1	0247-75-2006

福島森林管理署

〒960-8055 福島県福島市野田町7-10-4

電話：024-535-0121 Fax：024-535-6514

ホームページ：<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/hukusima/index.html>